平成27年度事務事業評価シート	該当事業（評価対象外事業は基本情報のみ記載）		
	一般事務	公共建設事業	評価対象外事業

事務事業名	〔8130〕（介保）高齢者安否確認見守り事業
予算科目	3 款　2 項　5 目
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 高齢者対策の充実
所管課情報	担当課：　長寿介護課　電話番号（内線）：　544
記入者情報	所属長：　武智 茂記　担当責任者：　福積 秀子
事業の性格	内部管理事務
実施期間	【開始年度】　平成　20 年度　【開始年度】設定なし
事業の対象	伊予市内に住所を有する65歳以上の一人暮し高齢者及び65歳以上の見守りが必要な世帯等
根拠法令等	伊予市高齢者安否確認見守り事業実施要綱
事業の目的	高齢者等の安否確認を行うことにより、当該高齢者等の社会的孤立感を解消するとともに、高齢者の自立支援を図る。
事業の内容	訪問により定期的に配食弁当を提供することで、高齢者の安否等を確認し、健康その他異常を確認した場合においては、速やかに関係機関へ通報する。
改善策の具体的取り組み（当初）	
改善策の具体的取り組み	

事業費及び財源内訳

項目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	5,899	6,686	1,416	5,424
	人件費	795	804	402	804
	合計	0	7,490	1,818	6,228
人件費内訳	人工数	0.10	0.10	0.05	0.10
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	795	804	402	804
財源内訳	国庫支出金	2,330	2,691	552	2,115
	県支出金	1,165	1,345	276	1,057
	地方債	0	0	0	0
	その他	1,238	1,518	311	1,193
	一般財源	1,961	1,936	679	1,863

事業活動の実績（活動指標）

項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
一人暮し高齢者数（寝たきり高齢者除く）	人	1534	1534	1534	1534
安否確認登録者数	人	301	310	281	271
安否確認率	%	19.6	20.2	18.3	17.7

向こう5年間の直接事業費の推移

年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	30,000

成果指標				
成果指標	安否確認率を成果指標とする。			
指標設定の考え方	ひとり暮し高齢者の安否確認率の向上を図ることが、高齢者の自立支援及び生活安定のために資するものと考える。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目　標	20	20	20	0
実　績	19.6	17.7	0	0

自己評価				
自己評価（担当責任者）	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	2	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	見守りが必要な高齢者が安心して弁当配食にあわせて安否確認を行い安心して生活が送れるよう支援を行った。来年度より「高齢者配食サービス事業」に変更し、安否確認と合わせ高齢者の食の確保を行っていく。			

一次評価				
一次評価（所属長）	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	2	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	来年度から高齢者配食サービス事業に変更して、実施することとなったが、業者を公募し、入札によって業者を決定するなど、高齢者の食の確保と安否確認をさらに進める事業となることを期待したい。			

二次評価	
二次評価（所属部長）	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業 （二次評価者コメント） H28年度から高齢者配食サービス事業に事業変更し実施することとしており、その検証を行うため、行政評価委員会に諮る。

行政評価委員会の答申	
外部評価 （行政評価委員会）	・昨年意見を出しており、その内容が課題認識にも反映されている。特に意見はない。 ・安否確認という点では、お弁当を配る際に確認するのが一番効率的である。 ・お弁当の宅配を入札に移行するとあるが、地域によっては距離もあるし、非常にコストがかかると思う。そういう点も考慮に入れた予定価格として、事業がうまくいくようにやっていただきたい。 ・弁当業者はこの費用をかなり期待しているのではないか。業者が変わってお弁当自体がまずくなると、この事業に参加する人が少なくなる。その辺りのチェックも合わせてやっていただきたい。 ・十重二十重にこういうサービスがあるのは望ましいと思うものの、この事業でなくても安否確認はできる。

経営者会議の最終判断	
事業の方向性	さらに重点化する。
意見、課題	今後ますます高齢者が増え、調理の困難な方が増える見込みである。高齢者の栄養管理という面での効果も期待できることから重点化すること。